

フィジカル セキュア エクスチェンジャー

Physical Secure Exchanger



HITACHI

フィジカル セキュア エクスチェンジャー

Physical Secure Exchanger

製品名称・型名

	製品名称	製品型名
フィジカル セキュア エクスチェンジャー	Pro 本体	AS-0125
	Standard 2.0	AS-0056
	Standard 2.0 (電源・ファン冗長化モデル)	AS-0080
	Lite 本体	AS-5003H

ラック (オプション)

フィジカル セキュア エクスチェンジャー Standard 用 ラック	AS-0081
-------------------------------------	---------

または EIA規格準拠(ユニバーサルピッチ)対応19インチラックに搭載可

製品機能比較

機能名称	Pro	Standard 2.0	Lite	
外部インタフェース	ユーザ用IF機能	○	○	△
	FTPクライアント機能	○	○	△
	FTP用IF自動転送機能	○	○	-
	メール用IF機能	○	○	-
オプション	暗号化転送機能	○	○	○
	ウイルスチェック機能	○	○	○
	転送承認機能	○	○	○
	運用監視機能	○	○	-
	転送ファイル記録機能	○	○	○

○:併用可能 (必要機能を選択) △:いずれか1つのみ -:対象外

製品機能・型名

機能名称	機能概要	製品型名	
転送機能	[転送方向制御] データの転送方向を片方向/双方向に制御可能です。 [転送タイミング制御] 運用シーンに応じデータ転送タイミングを指定可能です (任意に組み合わせ可能)。 ①周期、時刻 指定時間間隔、指定時刻に実施します。 ②転送要求数 指定転送要求数ごとに実施します。 ③データサイズ 指定容量ごとに実施します。 ④逐次 転送要求のあった都度実施します。	-	
運用管理機能	転送機能・外部インタフェース機能の動作条件、接続先システムの動作環境、転送禁止条件等の設定が行えます。データ転送の記録を参照可能です。	-	
ネットワーク管理連携機能 ^{*1} ~ ^{*3}	PSEを構成する各機器の情報を、SNMPマネージャーより一括で参照できます。状態が閾値を超過した場合、SNMPマネージャーに対しSNMPトラップによる通知が可能です。	-	
遠隔監視機能 ^{*3}	リモートデスクトップ接続による遠隔監視を行い、状況により管理者の操作でPSE内装置 (内部接続部、外部接続部) の停止および再起動を行います。停止および再起動は、サービスのみまたは装置全体を選択可能です。	-	
ログ監視機能 ^{*3}	トラブルシュートに必要な、PSEの中継部、内部接続部、外部接続部のログ情報を、遠隔で確認できるようにします。	-	
ウイルス感染防止機能 ^{*3}	予め起動を許可されたPSE内のプログラム以外の実行を抑制し、故意・不注意でのウイルス感染を防止します。	-	
時刻同期機能 ^{*3}	インターネット上のNTPサーバへ接続されていない重要資産エリアに対し、PSEを介してシステムの時刻同期を実現します。	-	
自動更新機能 ^{*3}	インターネットで配信されているWindows/パッチ等の更新プログラム、ウイルス定義ファイル更新情報を、外部に接続されていない重要資産エリアに対し、PSEを介して配信します。	-	
外部インタフェース	ユーザ用IF機能	Web画面で転送データの指定及び転送後データの取得が可能です。ドラッグ&ドロップによる操作で複数のファイルを指定可能です。利用者ごとのアクセス制御で転送データを防御します。	AC-0090
	FTPクライアント機能	定められたスケジュールに従い、FTP通信を用いて自動転送を実施します。	AC-0091
	FTP用IF自動転送機能	FTP転送を即時実施します。	AC-0098
オプション	メール用IF機能	SMTP通信でメール中継を行います。	AC-0092
	暗号化転送機能	指定したデータを転送する際、ユーザ指定のパスワードを付与し暗号化を実施します。暗号化したデータは端末装置で復号可能な実行形式となります。 ^{*2}	AC-0093
	ウイルスチェック機能	データを転送する際、自動的にウイルスチェックを実施します。ウイルス検知したデータは転送しません。	AC-0094
	転送承認機能	データを転送する際、権限を持つ運用者がデータをチェックすることが可能です。データチェックで承認されたデータのみを転送します。	AC-0095
	運用監視機能 ^{*3}	運用ログに警告および障害が発生した場合、パトランプを光らせて、視覚的通知を行います。また、SNMPマネージャーに対して、SNMPトラップによる通知が可能です。	AC-0096
転送ファイル記録機能	データを転送する際、ファイルの詳細情報を記録します。ファイル名、サイズ、更新日等詳細情報の記録・参照およびCSV形式でのエクスポートが可能です。	AC-0097	

*1 株式会社日立製作所製の統合システム運用管理ツールJP1での対応確認済

*2 復号可能なOSは、Windows7以降です

*3 PSE Liteには含まれません。

製品仕様

内容	Pro	Standard 2.0		Lite
型名	AS-0125	AS-0056	AS-0080 (電源・ファン冗長化モデル)	AS-5003H
外寸/重量	485mm (W) × 710mm (D) × 13U / 70kg以下	485mm (W) × 710mm (D) × 13U / 70kg以下	485mm (W) × 710mm (D) × 13U / 75kg以下	435mm (W) × 555mm (D) × 190mm (H) 以下 / 18kg以下
通信インタフェース	10GBASE-T/1000BASE-T/100BASE-TX		1000BASE-T/100BASE-TX	

製品の仕様・外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。Windowsは米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

株式会社 日立アドバンスシステムズ

〒244-0817

神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地

https://www.hitachi-as.co.jp/

ASDSEC006.09 | 2026.2

Printed in Japan

株式会社 日立アドバンスシステムズ

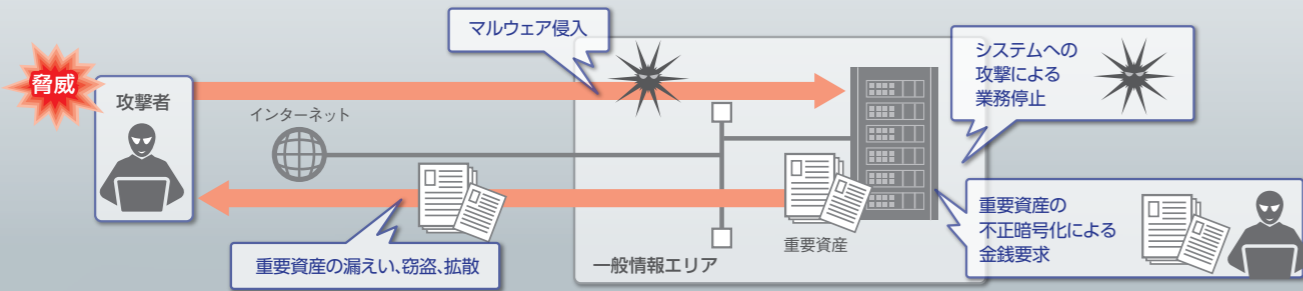
物理分離でセキュアにデータ転送!
セキュリティ強化と業務負担軽減を両立!



完全なネットワークの物理分離と安全なデータ転送を実現

インターネットに接続したネットワークエリアでは、個人情報、機密情報などの重要資産が攻撃の脅威にさらされます。

PSEは標的型攻撃による情報漏えいを防御し、既存システムへの影響も少なく運用も簡単です。



1 重要資産を外部の脅威から
防御するためネットワークを分離したい

2 分離したネットワーク間のデータ交換に
電子媒体を使うと紛失が不安

3 作業効率も落ちるため
電子媒体を使いたくない



エアギャップ(物理遮断)による接続技術で、大切な重要資産の漏えいを防止し、利便性も確保します。

Web画面による手動転送

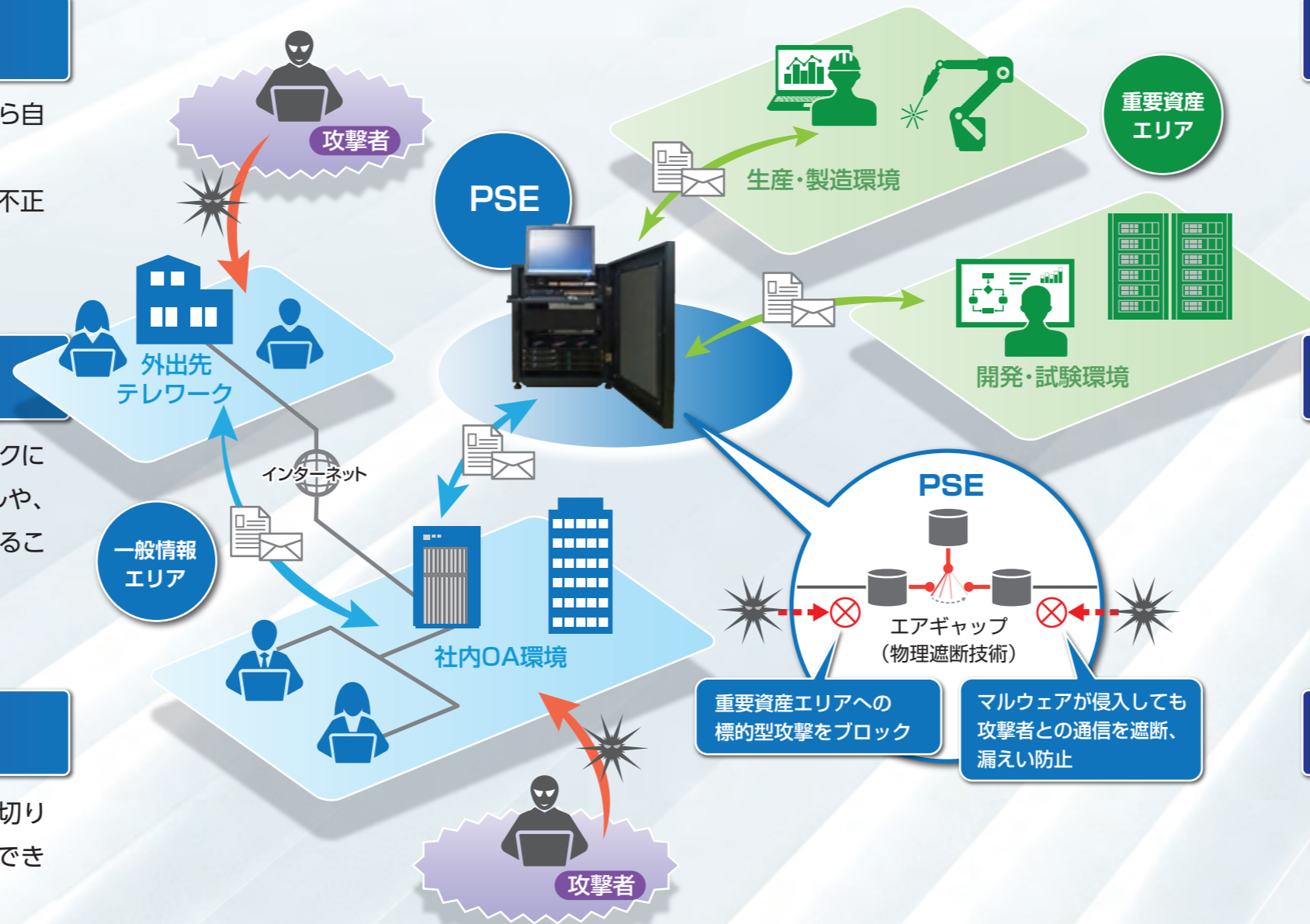
物理的に分離したネットワーク間で、自分から自分へのファイル転送が行えます。
ファイル転送時には承認者チェックにより、不正持ち込み/持ち出しを防ぎます。

自動転送機能

インターネットから切り離されたネットワークに対し、更新プログラムなどの大容量ファイルや、時刻情報などを人手を介さず自動転送することができます。

メール転送機能

重要資産エリアなどインターネットから切り離されたネットワークでもメールが利用できます。



お客様の運用条件に応じたさまざまな転送設定

転送方向(片方向、双方向)、転送のタイミング、ファイル名などによる転送許可/禁止などのさまざまな条件設定が可能です。

セキュリティ機能

ファイル転送の際、暗号化およびウイルスチェックを行うことにより、安全にファイルの受け渡しができます。
また、転送したファイルの詳細情報を記録し、いつ、誰が、何を送ったか記録として残すことが可能です。

運用管理・監視機能

死活監視、ログ収集などにより安定稼働に向けた管理が行えます。
リモート接続による遠隔監視を行い、PSEに対する停止および再起動も可能です。